**パラグアイ内政・外交（２０１４年４月分）**

**概要**

**（１）内政**

●１日，政府は，大統領令第１４３３号をもって，ギジェルモ・ソサ労働雇用社会保障大臣代行を同大臣に任命した。

●１日，最高選挙裁判所は，２０１５年の全国市長選を同年１１月１５日に実施することを発表した。

●２日夜，コンセプシオン県アソテウ市パソ・タウ入植地に所在する農場（ブラジル人家族が管理）に，EPP（パラグアイ人民軍）メンバー約１５人が侵入し，現金及び食料等の強奪を図り，少年１名を人質に取り，逃走する事件が発生した。

**（２）外交**

●２７日，カルテス大統領は，就任後２回目となるバチカン訪問を実施し，ヨハネ２３世及びヨハネ・パウロ２世を聖人に列する列聖式に参列した。

●２９日，ロイサガ外相は，イタリア外務省において，モゲリーニ・イタリア外相との会談を行い，両外相は良好な二国間関係を強調するとともに，両国関係の更なる発展に向けた意志を表明した。

●２１日，ロイサガ外相は，当国を訪問したティメルマン・アルゼンチン外相と会談を行い，二国間関係や地域情勢等につき意見交換を行った。

●２３日，当国下院においてパラグアイ・日本友好議員連盟（Comisión Parlamentaria Conjunta de Amistad con el Japón）の会員の任命がなされた。

**１　内政**

**（１）EPP（パラグアイ人民軍）関連**

＜国軍兵殺害事件＞

●２日夜，コンセプシオン県アソテウ市パソ・タウ入植地に所在する農場（ブラジル人家族が管理）に，EPPメンバー約１５人が侵入し，家族全員を人質に取った上，現金及び食料等の強奪を図る事件が発生した。現場に駆けつけた国軍及び国家警察とEPPとの銃撃戦により，EPPメンバー２人，国軍兵１人（ウゴ・モンヘス軍曹）が死亡した。残りのEPPメンバーは同農場管理者の長男アルラン・フィック（１６歳）を人質に取り現場から逃走した。治安部隊は，人質に取られた少年とEPPメンバーの追跡のため，大規模な捜索を開始した。

●これに対し，カルテス大統領は，同少年の早期解放をEPPに求めるとともに，同事件の解決に向け，可能な限りすべての取組を行う旨述べた。

●なお，情報筋によると，EPP側からは，アルラン・フィック少年の解放と引き換えに５万ドル相当の食糧を事件現場近隣の貧困住民に分配することが要求され，被害者家族は同要求に応じたと見られるものの，EPP側は少年を解放していない。

**（２）労働雇用社会保障大臣の就任**

●１日，政府は，大統領令第１４３３号をもって，ギジェルモ・ソサ労働雇用社会保障大臣代行を同大臣に任命した。客年１１月７日，上院本会議において，労働雇用社会保障省の創設を定める法案が可決・成立し，同法により，本年１月１日，司法労働省が司法省と労働雇用社会保障省に分割され，アベド司法労働大臣（当時）が司法大臣として留任したものの，労働雇用社会保障大臣の任命は行われず，本年３月３１日まで，ギジェルモ・ソサ国立職業促進局総局長が労働雇用社会保障大臣代行を務めていた。なお，労働雇用社会保障省は，労働，雇用，社会保障分野における政策策定及び労働者の権利保護を所管業務とする。

**（３）貧困対策関連**

●カルテス大統領は，コンセプシオン県及びサンペドロ県における貧困対策に着手するため，大統領令をもって，調整委員会を設置することを決定した。なお，同委員会は，貧困対策に関係する諸機関の計画実施の調整及び監視を担当する。

**（４）カルテス大統領の支持率**

●メキシコの世論調査会社Mitifskyが「米州及び世界の首脳の支持率」と題して実施した各国大統領の支持率に関する世論調査の結果によると，客年８月１５日に就任したカルテス大統領は７４％の支持率を得ている。また，当地世論調査会社ICAが，カルテス大統領就任１００日に際して実施した世論調査の結果によると，同大統領の支持率は８０％となっている。

**（５）次期上下両院議長選出を巡る動き**

●９日，カルテス大統領がガラベルナ上院議員（コロラド党）の次期上院議長就任を求めていると報道されていることについて，同上院議員は，エンリケ・バチェッタ上院議員（コロラド党）の次期上院議長就任を望む旨のべ，自身の就任を否定した。

●１６日，リャノ上院議員（リベラル党）は，次期上下両院議長の選出（任期は７月１日から１年）に関し，客年８月の新議会発足に際し，与党コロラド党と野党リベラル党の間で，両院議長を両党から交互に選出することで合意に至っているとし，次期上院議長はリベラル党に，下院議長はコロラド党とするべきである旨発言した

●２９日，カルテス大統領は，ガラベルナ上院議員を支持する意向を示しているが，与野党より反対があった場合，政権運営を円滑に行えるよう，他の候補者を指名する可能性を示唆した。また，コロラド党内で候補者を選出するのが困難であった場合は，リベラル党の候補者を支持する可能性もあると見られている。

**（６）２０１５年全国市長選挙日程**

●１日，最高選挙裁判所は，以下のとおり，２０１５年の全国市長選の選挙日程を発表した。

７月２６日 党内選挙

９月１４日～１１月１２日　選挙キャンペーン期間

１１月１５日 全国市長選挙投票日

１２月１９日 新市長就任

**２　外交**

**（１）カルテス大統領のバチカン訪問**

●２７日，カルテス大統領は，バチカンを訪問し，ヨハネ２３世及びヨハネ・パウロ２世を聖人に列する列聖式に参列した。右バチカン訪問は，大統領就任以降，昨年１１月の訪問に引き続き，２回目の訪問となった。

**（２）ロイサガ外相のイタリア訪問**

●２９日，ロイサガ外相は，イタリア外務省において，モゲリーニ・イタリア外相と会談を行い，両外相は良好な二国間関係を強調するとともに，両国関係の更なる発展に向けた意思を表明した。

●同会談において，ロイサガ外相は，メルコスール-EU・FTA締結交渉を進めるための重要な時期に，イタリアが次期EU議長国に就任するという点においても，両国間関係は非常に重要である旨述べた。

●これに対し，モゲリーニ外相は，ベネズエラ情勢につき関心を示し，ロイサガ外相は，UNASUR外相委員会が，ベネズエラを訪問するなど，同国の平和化及び政治的安定に向けた協力を行っている旨説明した。

●また，両国外相は，イタリアを含めたEU市場に輸出しうるパラグアイ産品につき意見交換を行った。更に，モゲリーニ外相は，食糧分野におけるパラグアイの高い生産性，順調な経済発展等の魅力に起因するイタリア企業の対パラグアイ投資への関心につき述べた。これに対し，ロイサガ外相は，大規模公共事業を促進するための官民連携法（Alianza Publico-Privada）などの施策を通し，パラグアイ政府は外国からの投資に扉を開いている旨述べた。

**（３）ティメルマン・アルゼンチン外相の当国訪問**

＜ロイサガ外相との会談＞

●２１日，ロイサガ外相は，当国を訪問したティメルマン・アルゼンチン外相と会談を行い，二国間関係や地域情勢等につき意見交換を行った。

●ロイサガ外相は，同会談後，記者団に対し，両国経済関係，協力関係，麻薬の密輸問題，両国間アクセスの改善等につき進展があった旨述べた。また，ヤシレタダムを巡る問題については，アルゼンチン外務省の所掌事項ではないとしつつも，今回署名した共同声明に１項目として記載した旨述べた。

●これに対し,ティメルマン外相は,今次会合においては,安全な貿易を可能にするための湾港や水路の利用,両国間のアクセスを改善するための新たな橋の建設,ヤシレタダムを巡る問題等につき議論した旨述べた。また，EUとのFTA締結交渉を含めたメルコスール関連の議題や，UNASURやCELAC，近々アスンシオンで開催されるOAS総会についても意見交換を行った旨述べた。

＜両国外相共同声明＞

　外相会談後の署名された両国外相共同声明の主要点は以下のとおり。

●第１回二国間閣僚会合及び第１回二国間国境地域県知事会合の成果を強調し，両会合のフォローアップを引き続き行うとともに，本年１１月にアスンシオンで行われる予定の第２回会合において新たな取り組みを発展させることを希望。

●財政や電力サービス供給に関するヤシレタ条約付属書Ｃにかかる合意に向けた交渉の開始及びヤシレタ二国間公団を巡る問題の解決に向けた取り組みの開始の重要性につき一致。

●メルコスール格差是正基金を利用し建設される予定のアスンシオン-クロリンダ間の新しい橋の建設への関心を表明。

●去る３月３１日の二国間貿易モニタリング委員会第６回会合の開催を強調するとともに，両国間貿易の増加・多様化に向けた取り組みを行うことで一致。

●貿易の活性化に向けて，湾港・税関便宜小委員会会合を早期に開催することで一致。

●１９６７年の原子力平和利用にかかる二国間協力協定の再交渉を早期に開始することで一致するとともに，４月２９日にパラグアイ国家原子力委員会代表団がアルゼンチンを訪問することに合意。

●CELAC，UNASUR，メルコスールなどの地域統合体及び地域統合プロセスの強化に向けた取り組みの維持・深化の重要性を強調。

●パラグアイ外相は，マルビーナス諸島，南ジョージア諸島，南サンドイッチ諸島及びその周辺海域に対するアルゼンチンの主権を支持し,アルゼンチン外相は,右支持及び同領土問題に関する地域的機関及び国際機関におけるパラグアイのコミットメントに感謝。

**（４）ウルグアイとの政策協議**

●２日，モンテビデオにおいて，パラグアイ・ウルグアイ間の政策協議が行われ，パラグアイからは，ゴンサレス外務副大臣，ウルグアイから，ポルト外務副大臣が出席した。同協議において，ウルグアイ側は，ウルグアイの港湾施設内において，パラグアイ貨物の流通を容易にする特別エリアを設けることを検討している旨発言を行った。今後，両国は，二国間経済分野における協議のためのハイレベル・チームを結成し，多国間スキームでの進展が見込めない各種案件について協議を進めることで一致した。

**（５）各国大使による信任状捧呈**

１０日，以下の各国大使がカルテス大統領に対し，信任状の捧呈を行った。

ベルギー，オーストリア，ブルガリア，チェコ，アルメニア，ニュージーランド，クロアチア（以上，駐アルゼンチン大使（パラグアイ兼轄）），赤道ギニア，スリナム，ザンビア，アラブ首長国連邦（以上，駐ブラジル大使（パラグアイを兼轄））。

**（６）下院パラグアイ・日本友好議連の会員任命**

●２３日，当国下院においてパラグアイ・日本友好議員連盟（Comisión Parlamentaria Conjunta de Amistad con el Japón）の会員の任命がなされた。同議連は，２０１３年８月の新議会発足以降，会員の任命が行われていなかった。なお，任命された会員は以下の通り。

１　ラモン・ロメロ・ロア（コロラド党，Aグループ，下院憲法委員会委員長）

２　フレディー・タデオ・デクレシス・ヒメネス議員（コロラド党）

３　オスカル・ベナンシオ・ヌニェス・ヒメネス議員（コロラド党）

４　マリオ・ドゥイリオ・カセレス・ゴンサレス議員（コロラド党，下院予算執行管理委員会委員長）

５　ネストル・ファビアン・フェレール・ミランダ議員（コロラド党）

６　クレメンテ・ラモン・バリオス・モンヘス議員（コロラド党，下院司法・労働・社会保障委員会委員長）

７　エルクレス・P・ロレンソ・アジアナ・ロドリゲス議員（コロラド党）

８　ホルヘ・イグナシオ・バルハ・フェルナンデス議員（コロラド党，国家運営委員会委員長）

９　マリア・クリスティーナ・ビジャルバ・ロペス議員（コロラド党）

１０　オスカル・ルイス・トゥマ議員（コロラド党）

１１　ダニー・ドゥランド・エスピノーラ議員（コロラド党）

１２　フェルナンド・オルテジャード・ソリージャ議員（コロラド党）

１３　ウーゴ・L・ルビン議員（国民会合党）

**３　要人往来**

**（１）来訪**

**●**２１日，ティメルマン・アルゼンチン外相（ロイサガ外相との会談等）

●２９日，ｱﾌﾞﾀﾞｯﾗｰ･ﾋﾞﾝ･ｻﾞｲｰﾄﾞ･ｱｰﾙ･ﾅﾋﾔ-ﾝUAE外相（アファラ副大統領との会談）

**（２）往訪**

●１～３日，バイアルディ女性相，パナマ訪問（世界経済ﾌｫｰﾗﾑ・ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ会議出席）

●９～１２日，ヒメネス・ガオナ公共事業通信相，米国訪問（水関連国際会議）

●１０～１３日，ロハス蔵相，米国訪問（世銀スプリングミーティング等出席）

●２５～３０日，カルテス大統領，バチカン訪問（列聖式参列）

●２５～３０日，ロイサガ外相，イタリア及びバチカン訪問（外相会談等）